町田交通安全協会

めざせ死亡事故ゼロ社会

次世代の担い手も育っている。 ャンペーンに参加し、

様々なイベント 密にならな

し台自治会

≥ 町田交通安全協会

学生たちによる町田交通少年団も結 レンジのスカーフが可愛らしい小 多くのボランティアに支えられてい **部長ら約120人の役員をはじめ 迪安全協会の傘下団体として誕生し 凱、地域のお祭りやイベントへの参 キャンペーン、広報車による啓蒙活** の、毎年暮れのTOKYO交通安全 る。春秋の全国交通安全運動をはじ た同協会は8つの支部があり、各支 戦後まもなく設立された東京都交 また、ライトグリーンの制服にオ 12人の子どもたちが交通安全 活動は多岐にわたる。 広報車に

斯图交派架全協会

って交通安全を呼びかけるなど、

今年は新型コロナウイルス感染症 普段とは違う慣れない活動に

> り、地域とのつながりを大切にして のコミュニケーションを積極的にと の協力なくしてはできない。 め、ウィズコロナの中で地道に活動 の事故が多い地域。事故を減らすた 管内の死亡事故ゼロが残念なことに もある。学校のボランティア活動が 「今年の6月まで8カ月続いていた 子どもたちの登下校の安全確保の きたい」と話す。 地域の役員が道路に立つこと 活動は役員など仲間 高齢者や子ども 村松会長は

のは死亡事故ゼロだ。

識の向上に取り組んでいる。 目指す を実施するなど、地域の交通安全意 同協会は春と秋に全国交通安全運動 交通安全協会」(村松稠敏会長)だ 通安全対策の一翼を担うのが「町田

都内で一番多い管轄内人口を抱え

その町田署管内の交

なっている。 通安全協会の活動に参加する魅力と やりがい」と笑顔で話す。 安全が何より大事。交通安全を学校 で顔の見える関係が築けるのも、交 もたちの成長が実感できるところも に立っていると、 ちの安全のために登下校時間に道路 にお願いしたりしている。子どもた 勝第一支部支部長は「子どもたちの きっかけで活動を始めたという鈴木 とかが分かるようになる。子ど 今日は元気がない 地域の中

■町田交通安全協会



やくし台自治会

役員は50代が中心 IT積極導入

導入へのハ

員経験者ら8人が登録しているが 即時的に合意を取り付けることもで きる」と語る。更新後のグループウェ 台や紙の持ち回りに比べ、導入後は 0合意・決裁で進めるが、

ジタルツールには会社でよく慣れ親 役員は就労世代の50代が中心で、 し台自治会」(鴨下光夫会長)だ。 つなげようとしているのが、「やく 取り入れ、負担軽減と組織活性化に ン役員会」もスター しんでいる。9月には、「オンライ 自治会運営にⅠ

役員会のスケジュールや議案、町内 フォンで確認し、意見を発信できる。 はいつでも気軽にパソコンやスマー ンターネット上で情報共有できるグ 便利なはず」と導入を提案した。 紕でやり取りされている自治会にも るシステムだが、連絡のほとんどが 开祥和さんが「民間企業で使われてい 当時の役員でシステムエンジニアの長 イベントなどを掲示すると、登録者 ープウェアのシステムを導入した。

ンラインを併用していくという。

当時から就労世代の役員が多く 山口晋平さんは「役員会は起案 ードルは極めて低かっ 約650世帯のうち役 以前の会

技術を積極的に 全世帯にも広げたい考えだ。もちろ

やくし台自治会は2012年、 後も感染状況に応じ、通常開催とオ

なさがあったが、思ったよりもスト 宅の役員と議論した。「最初はぎこち なったため、9月13日には初めての め、紙での連絡は残していく方針だ。 レスなく進みました」と鴨下会長。今 に集まり、ウェブ会議システムで在 ト役の役員4人がやくし台自治会館 オンライン役員会も開催した。ホス コロナ禍で役員会の召集が難しく

宅勤務者が増えており、 住民に有効活用してもらえそう。 境を整備した。鴨下会長は「地域の 務負担を解消し、コミュニケーショ オフィスのような使い方も考えられ ンが活性化すれば、若い担い手も増 では」と鴨下会長。デジタル化で業 「役職免除などの措置も考えるべき 会する高齢者が目立ち始めている。 っかけにしたい」と話してい えられないとして、 加入に関する問 一方、役員を任された際に職務に 自治会に関心を持ってもらう 自治会館にはLAN環 い合わせ 自治会を退 サテライ 在







パソコンを持たない人もいるた